

実施計画事業名		社会教育活動支援事業		評価対象年度	平成 22 年度		
評価担当部署		学校教育課 社会教育課		課長(主幹)名	小田島 富男		
総合計画体系	分野	1	教育・文化				
	政策	3	活気あふれる学びの場づくり				
	施策	1	学ぶ心の育成を推進します				
	関連施策						
現状と課題	常に変化し多様化する社会ニーズに応えるため、各分野の最新の情報提供や人材の育成、学びの場や活動の場の確保など、地域に根ざしたあらゆる活動を推進する必要がある。 市民自らが自主的に学ぶ学習意欲を喚起するなど、協働事業との連携を図ること。また、各施設の機能を充実させるなど市民ニーズに沿った学習環境の整備が必要である。						
目的	多くの市民の興味や関心を高めることによって学ぶことの楽しさ、素晴らしさを伝え、学習成果を活かせる機会を提供することにより、市民の学ぶ意欲の向上を促す。						
5ヶ年開の 施策展開	①学習機会の提供 学習活動を行う団体、サークルの育成に努めるほか、市民の学習意欲を促す多様な学習機会を施設の側から発信する。 ②学習の支援 自ら学んだ学習の成果を地域に還元するなど、市民の自主的な学習活動を支援する。						
成果指標	名称		単位		21 年度	22 年度	25 年度
	社会教育施設全体の延べ利用者総数		人	目標	55,000	55,000	55,000
説明	社会教育施設全体の年間延べ利用者数の合計			実績	55,443	55,283	
活動指標	名称		単位		21 年度	22 年度	25 年度
	社会教育センター(東分館含む)延べ利用者数		人	目標	32,000	32,000	32,000
	説明	社会教育センター(東分館含む)の年間利用者延べ人数の合計		実績	31,997	31,554	
	コミュニティセンター延べ利用者数		人	目標	17,000	17,000	17,000
	説明	コミュニティセンター(北、声間、増幌、沼川、曲淵、宗谷岬)の年間延べ利用者数の合計		実績	15,826	16,826	
	青少年会館延べ利用者数		人	目標	6,000	6,000	6,000
	説明	青少年会館の年間延べ利用者数の合計		実績	7,620	6,903	
				目標	-	-	-
説明			実績				
事業費の実績		単位	21 年度 (決算)	22 年度 (評価年度決算見込)	23 年度 (予算)	備考	
	直接事業費(A)	千円	38,497	23,791	32,702	コミュニティセンター管理 運営事業のうち10,415 千円は平成23年度繰越	
	国庫支出金	千円	0	0	7,700		
	道支出金	千円	0	0			
	起債	千円	0	0			
	その他	千円	0	0			
	一般財源	千円	38,497	23,791	25,002		
	この事業にかかる職員数	人/年	0.92	0.51	0.51		
人件費(B)	千円	6,372	3,463	3,463			
計(A+B)	千円	44,869	27,254	36,165			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 青少年会館の管理運営については、平成22年度から指定管理者制度に移行する。						

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
コスト効率	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総合評価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 各社会教育施設等は、地域における生涯学習の拠点となる施設であり、主催事業や自主的なサークル活動を通じて、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進など、市民生活にとってその必要性は高い。ただし経年劣化による施設の老朽化が進み今後の施設のあり方も含めて検討が必要である。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総合評価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--